

01. 調節池はなぜ必要なのですか

東京都では、洪水による水害から都民の命と暮らしを守るとともに、うるおいと安らぎのある水辺を創出するため、中小河川の整備を進めています。

善福寺川沿川は、平成17年9月の豪雨により、床上、床下あわせて約1,700棟の浸水被害が発生するなど、これまで複数回にわたり水害が発生し、地域の皆様からも早期整備の要望を頂いており、対策が急務となっております。

このような状況を受け、平成24年に、時間50ミリを超える降雨に伴う水害が頻発していることを踏まえ、学識経験者の意見を参考に「中小河川における都の整備方針」を策定し、目標降雨を年超過確率20分の1の規模の降雨に設定しました。この方針の中で、時間50mmまでは河道整備で対応し、時間50mmを超える降雨については、調節池整備と流域対策により対応することとしています。

地下調節池は、洪水を一時的に貯めることで河川の水位の上昇を抑え、浸水を防ぐ効果があり、有効な洪水対策の手段となります。